⑸　工期　平成26年３月31日まで。
⑹　使用する主要な資機材　コンクリート約2,940㎥、鉄骨約820ｔ、鉄筋約350ｔ、板ガラス約650㎡
⑺　本工事は、工事施工について「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」及び「工事全般の施工計画」(以下「技術提案書」という。)を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（標準型）を実施する工事である。
⑻　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
⑼　本工事においては、入札等を電子入札システムにより行う。
　なお、電子入札システムにより難い者は、契約責任者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。紙入札方式参加承諾願（様式任意）は、４⑴に提出するものとする。
２　競争参加資格　次に掲げる条件を全て満たしている単体有資格者であること。
⑴　国立大学法人岐阜大学契約実施規程第５条及び第６条の規定に該当しない者であること。
⑵　文部科学省において建築一式工事の一般競争参加者の資格（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加資格の再認定を受けていること。)を有し、「一般競争参加者の資格」(平成13年１月６日文部科学大臣決定）第１章第４条で定めるところにより算定した点数（一般競争（指名競争）参加資格認定通知書の記２の点数）が、1,175点以上であること。
⑶　会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記⑵の再認定を受けた者を除く。)でないこと。
⑷　平成10年度以降に、元請として完成・引渡しが完了した、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の延べ面積3,500㎡以上の校舎、研究施設、庁舎、事務所又は病院の新営工事を施工した実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20％以上の場合のものに限る。)
⑸　次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。
①　１級建築施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。
　なお、「これと同等以上の資格を有する者」とは、一級建築士の資格を有する者又はこれらと同等以上の資格を有する者として国土交通大臣が認定した者であること。
②　平成10年度以降に、元請として完成・引渡しが完了した、上記２⑷に掲げる工事の経験を有するものであること。
③　監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
⑹　競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。)及び競争参加資格確認資料(以下「資料」という。)の提出期限の日から開札の時までの期間に、文部科学省又は国立大学法人岐阜大学から「建設工事の請負契約に係る指名停止等の措置要領について」(平成18年１月20日付け17文科施第345号文教施設企画部長通知）に基づく指名停止を受けていないこと。
⑺　上記１に示した工事に係る設計業務等の受託者（協力を受ける他の建設コンサルタント等を含む。以下同じ。)又は当該受託者と資本若しくは人事面において一定の関連がある建設業者でないこと。
⑻　入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。(資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。)
⑼　警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、文部科学省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
３　総合評価に関する事項
⑴　落札者の決定方法
①　入札参加者は、「価格」及び「技術提案書」をもって入札に参加し、次の㋐、㋑の要件に該当する者のうち、⑵④によって得られ得る数値（以下「評価値」という。)の最も高い者を落札者とする。
㋐　入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
㋑　評価値が、標準点を予定価格で除した数値（基準評価値）に対して下回らないこと。
②　①において、評価値の最も高い者が２者以上あるときは、くじを引かせて落札者を決定する。
⑵　総合評価の方法　標準点を100点とする。加算点は最高30点とし、技術提案書の内容に応じ、与える。なお、「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」については、入札説明書の別冊図面及び別冊仕様書に参考として示した標準案により入札に参加する（技術提案を行わない）場合は、「工事全般の施工計画」に関してのみ、加算点を算出し与える。
①　「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」については、予定価格の制限の範囲内の入札参加者で、提案の内容により評価項目毎に、優／良＋／良／良－／可で評価する。
②　「工事全般の施工計画」については、予定価格の制限の範囲内の入札参加者で、提案の内容により、優／良＋／良／良－／可／不適切で評価する。なお、「不適切」の評価を受けた入札参加希望者については、入札の参加は認められない。
③　各評価項目の得点合計を加算点とする。
④　価格及び価格以外の要素による総合評価は、入札参加者の「標準点」と「加算点」の合計を、当該入札参加者の「入札価格」で除して得た「評価値」をもって行う。
⑶　評価項目　本工事における「技術提案書」については、以下の項目について評価する。
①　環境の維持
②　特別な安全対策
③　施工上配慮すべき事項等の技術的所見
　詳細については、入札説明書による。
⑷　受注者の責により、採用された「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」及び提案した「工事全般の施工計画」に基づく工事が実施されていないと認められる場合は、指名停止措置を行うものとする。
４　入札手続等
⑴　担当部局　〒501―1193 岐阜県岐阜市柳戸１番１　国立大学法人岐阜大学施設環境部環境企画課施設総務係　電話058―293―2112
⑵　入札説明書の交付期間、交付場所及び交付方法　平成25年６月26日（水）から平成25年７月16日（火）まで　上記４⑴に同じ。
　入札説明書の交付は、無料とする。ただし、図面は、本学が指定する購入先より購入すること。
⑶　申請書、資料及び技術提案書の提出期間、提出場所及び提出方法　平成25年６月26日（水）から平成25年７月16日（火）午後５時00分まで
　申請書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者の承諾を得た場合は上記４⑴に持参すること。
　資料及び技術提案書は、電子入札、紙入札を問わず上記４⑴に持参すること。
⑷　入札保証金の納付等及び関係書類の提出期間、場所及び方法　平成25年７月31日（水）から平成25年８月28日（水）午後２時00分までに、上記４⑴に持参又は郵送（書留郵便等配達記録が残るものに限る。提出期限内必着。)により提出すること。
⑸　入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法　入札書は、平成25年８月28日（水）午後２時00分までに、電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者の承諾を得た場合は、上記４⑴に持参又は郵送（書留郵便等配達記録が残るものに限る。提出期限内必着。)により提出すること。
　開札は、平成25年８月29日（木）午前10時00分。国立大学法人岐阜大学施設環境部環境企画課施設総務係において行う。
５　その他
⑴　手続において使用する言語及び通貨
　日本語及び日本国通貨に限る。
⑵　入札保証金及び契約保証金
①　入札保証金　納付。ただし、銀行等の保証をもって入札保証金の納付に代えることができる。なお、落札者が契約を結ばない場合は、本学に帰属する。また、入札保証保険契約の締結を行い、又は契約保証の予約を受けた場合は、入札保証金を免除する。
②　契約保証金　納付。ただし、現金又は銀行、契約責任者が確実と認める金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。